

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104010	小中学校学区再編成等調査事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		31	1,722		1,691
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	31	1,722		1,691

特定財源の内訳					
事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～	

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯
少子化の影響を受け、児童生徒数の減少が進み、学校の小規模化、複式学級の出現など地域の状況により、学校規模、学習環境がアンバランスな状態であることから、学校規模の適正化を図り、活力ある教育環境を整える。

事業概要
○現状認識のための情報共有 114千円 市議会議員、行政区長、コミュニティ会議、小中学校長、PTAへ児童生徒数の推移等の情報を提供 PTAや地域住民を対象とした教育懇談会を開催
○笹間第一小学校と笹間第二小学校の統合に向けた準備 1,608千円 備品等の移設や閉校記念事業への支援を実施

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	及川 盛敬
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況
・平成30年度第2回教育振興審議会・平成30年度第1回保育教育環境検討会議 ・令和元年度第1回花巻市議会定例会一般質問・令和元年度第2回花巻市議会定例会一般質問 ・令和元年度笹間地区統一要望・亀ヶ森地区の子供たちの教育環境について考える会・教育懇談会

事業手法の詳細1
1 現状認識ための情報共有 114千円 「花巻市内小中学校児童生徒数の推移と今後の見通し」の作成・配布、教育懇談会の開催 [経費内訳] 資料紙代等82千円、郵便料32千円
2 笹間第一小学校と笹間第二小学校の統合に向けた準備 1,608千円
(1) 笹間第二小学校閉校式典 89千円 市主催による閉校式典の開催経費 [経費内訳] 消耗品費7千円、生花20千円、しおり印刷28千円、郵便料2千円、看板製作委託32千円
(2) 笹間第二小学校備品等移設 1,269千円 笹間第二小学校から笹間第一小学校への備品等の移設経費
(3) 笹間第二小学校閉校事業費補助 250千円 PTA及び地域が主体となり実施する閉校記念事業に対する補助

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104010	小中学校学区再編成等調査事業費

事業手法の詳細 2					
<p>【これまでの経過等】</p> <p>H27～ ・保育教育環境検討会議開催</p> <p>H28～29 ・保育教育環境検討会議開催 ・ワークショップ開催 →保幼小中の望ましい規模や再配置を含めた将来像の形成</p> <p>H30 ・「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針（案）」策定 ・説明会開催 ・出前学習会開催 ・保育教育環境検討会議開催</p> <p>R1 ・「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針策定」 ・教育懇談会開催→内川目小学校・亀ヶ森小学校の大迫小学校へのR3. 4. 1統合決定</p> <p>R2 ・保育教育環境検討会議開催 ・大迫地域小学校統合準備委員会設立、閉校記念事業への支援等 →R3. 4. 1内川目小学校・亀ヶ森小学校の大迫小学校への統合</p> <p>R3 ・教育懇談会開催→笹間第一小学校と笹間第二小学校のR5. 4. 1統合決定 ・笹間第一小学校・笹間第二小学校統合準備委員会設立</p> <p>R4 ・笹間第一小学校・笹間第二小学校統合準備委員会開催、閉校記念事業への支援等 →R5. 4. 1笹間第一小学校・笹間第二小学校統合 ・教育懇談会開催→石鳥谷地区の小中学校の在り方について意見交換 ・矢沢地区において、小中一貫教育導入に向けた情報提供や先進地視察等を実施 →矢沢小中PTA学校の在り方検討委員会より矢沢地域振興会や区長等へ対し、義務教育学校の導入について提案</p>					

事業手法の詳細 3					
This area is currently blank in the provided image					

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104020	私立高校振興事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,240	3,240		0
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,240	3,240		0

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	<input type="radio"/>	単年度繰返	<input type="checkbox"/>	期間限定	～
------	-----------------------	-------	--------------------------	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

私立高校は公教育の一端を担うという大きな役割を果たしてきており、市として私学の自主性を尊重しながら、私立学校の教育条件の維持、向上を図るため私立高校への助成を行ってきた。

事業概要

○私立高校振興事業補助 3,240千円
私立高校の振興に対する補助金

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	及川 盛敬
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

・平成28年第3回花巻市議会定例会において「私学教育の充実・発展を求めること」の請願あり→一部採択

事業手法の詳細 1

1 私立高校振興事業補助 3,240千円

【事業概要】
学校教育における私立高校の果たす重要な役割に鑑み、教育環境整備の充実を図ることにより、本市教育の振興に資するため補助金を交付する。
・補助対象：花巻東高等学校
・補助内容：運営費補助
・補助額：@4,500円×生徒定数720人=3,240,000円

【補助金交付の必要性とその効果】
私立高校の役割：公教育の一端を担い、多様なニーズに応じた教育研究を推進
↓
補助金交付により私立高校の教育環境の充実が図られ、優れた人材の輩出につながることから、市教育振興に資する。

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104040	奨学金活用人材確保支援事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		379	565		186
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	379	565		186

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間 単年度繰返 期間限定 ~

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略を進めるうえで、奨学金制度を有効に活用した事業実施の検討が必要になったため。

事業概要

- ふるさと保育士確保事業補助 114千円
市内認可保育園で勤務している保育士に返還金の半額を補助
- ふるさと奨学生定着事業補助 451千円
市内大学を卒業後に市内に居住している者に返還金の半額を補助

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	高橋 晃一
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

1. ふるさと保育士確保事業補助 114千円 (R3 148千円 前年度対比△34千円)
市内認可保育所等で勤務している保育士に奨学金の返還金の半額を補助
対象者3名 (内訳 継続3名、新規0名)
2. ふるさと奨学生定着事業補助 451千円 (R3 231千円 前年度対比+220千円)
市内大学を卒業後に市内に居住している者に奨学金の半額を補助
対象者6名 (内訳 継続5名、新規1名)

補助金の流れ

市 → 補助1/2 →
 奨学基金
 対象者 → 返還1/2 →

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104800	はなまき夢応援奨学金事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,680	5,280		1,600
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	4,700		4,700
	一般財源	3,680	580		-3,100

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

「返還義務のない奨学金について」の市長へのはがきを契機に、貧困の連鎖を解消する一助になればと考え自立に向けた支援が必要な方への奨学金制度の構築を行うこととなった。

事業概要

○はなまき夢応援奨学金 5,280千円 対象：生活保護世帯、児童養護施設入所者、ひとり親家庭で非課税世帯、特別支援学校高等部在籍者、日本学生支援機構給付奨学金採択者のいずれかに該当し、高等学校などを卒業後、大学・短期大学・専修学校専門課程等に進学し、卒業後に市内に居住する意思を持つ者 貸与額：学資金 月額20,000円
--

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	高橋 晃一
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

H28. 10. 20市長へのはがき「返還義務のない奨学金について」

事業手法の詳細 1

- 奨学基金繰出金 5,280千円
貸与原資 5,280千円（貸与数 継続15名、新規7名）
 - はなまき夢応援基金奨学金の概要
 - 概要
生活保護世帯、児童養護施設入所者、ひとり親家庭で非課税世帯、特別支援学校高等部在籍者、日本学生支援機構給付奨学金採択者のいずれかに該当し、高等学校などを卒業後、大学・短期大学・専修学校専門課程等に進学し、卒業後に市内に居住する意思を持つ者に対し、月額20,000円以内の学資金を貸与する。
また、卒業後市内に居住する場合は返還を免除する。
ただし、転出している期間については、返還を要する。
 - 対象者・流れ
【奨学金を借りて進学を希望し、卒業後に市内への居住を希望する要自立支援者】
①生活保護世帯の学生
②児童養護施設入所者であった学生
③ひとり親家庭で非課税世帯の学生
④特別支援学校高等部卒業の学生
⑤日本学生支援機構の給付奨学金に採択された学生
↓ 奨学金を貸与 ↓ ※奨学基金から貸与し、同額を一般会計から繰り入れる
大学等卒業後に市内に居住すると全額免除
※転出した場合は返還
- 【参考】 制度改正の経緯
平成29年度 本制度創設→以降利用が少ない状況が続く
令和2年度 独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金の対象世帯拡充
→非課税世帯に準ずる家庭も利用可能となったものの、当該給付奨学金に採用された世帯において貸与奨学金を併用している世帯が一定数あり、支援が十分でない状況
令和3年度 はなまき夢応援奨学金に係る貸与条件を緩和
【拡充した点】
1 日本学生支援機構の給付奨学金に採択された方を新たに対象者に追加
2 日本学生支援機構の給付奨学金との併用を可能とした

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104890	岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		11,369	35,739		24,370
財源内訳	国費	2,753	3,064		311
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	21,000		21,000
	一般財源	8,616	11,675		3,059

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	
------	---	-------	--	------	--

部重点施策における目標

地域が主体となった個性あふれる地域づくりを支援します。

事業開始の背景・経緯

岩手県立大迫高等学校は、大迫地域唯一の後期中等教育機関であり「地域とともに歩む大迫高校」が、地域の活性化に果たす役割が大きい。岩手県教育委員会が策定した「新たな県立高等学校再編計画」による、新入学者21人以上という存続要件を満たすための入学者増に資する事業を展開する。

事業概要

○高校生おおはさま留学生の受け入れ 5,346千円
 高校生おおはさま留学生の受け入れ 3人（新規2人、継続1人）
 ○地域みらい留学事業負担金 880千円
 地域みらい留学フェスタ2022へ参加し、募集を実施
 ○岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会事業補助 7,249千円
 生徒確保通学費補助、学習支援費補助、生徒募集ポスターの作成、高校の魅力化促進事業補助
 制服購入費補助、各種検定費補助、オープンスクール参加費補助
 ○大迫高校学生寮改修工事等 22,264千円
 設備改修、実施設計、改修工事

担当部署	22290000 大迫支所 大支(教育)	担当課長	高橋 哲也
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

地域住民や各団体から大迫高等学校の存続を求める声がある。また、支所市長執務においても岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会から、大迫高等学校生徒確保に対する支援の要望などが出ている。

事業手法の詳細1

岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業 35,739千円

- 高校生おおはさま留学生の受け入れ 5,346千円
 - 受入経費 5,116千円
 高校生おおはさま留学生の受け入れ 3人（継続：1人・新規：2人）
 ①謝礼 113,000円
 生活支援員謝礼 3,500円×延べ30日（4人）=105,000円
 留学生候補者選考委員謝礼 4,000円×2名 = 8,000円
 ②委託料（3人分） 5,002,800円
 留学生受け入れ業務（人件費、寮費、備品費） 5,002,800円
 - 募集経費 230千円
 ①地域みらい留学合同説明会参加旅費（東京1泊2日、2名分） 90,660円
 ②印刷製本費 募集チラシ（1,000枚） 139,999円

《参考》
 高校生おおはさま留学生に係る保護者負担 480千円
 ・寮費（食費1人当たり） 40,000円×12月=480,000円

- 地域みらい留学事業負担金 880千円
- 岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会事業補助 7,249千円
 - 生徒確保通学費補助 5,542,700円
 ①通学バス・タクシー代（35名） 5,301,400円
 ②JR定期代 46,300円
 花巻駅～石鳥谷駅（1名） 28,300円
 花巻空港駅～石鳥谷駅（1名） 18,000円
 ③バス定期代 195,000円
 石鳥谷駅～大迫（6名）
 - 学習支援費補助「スタディサプリア学習費」（56名） 343,490円
 - 生徒募集ポスターの作成（100枚） 110,000円
 - 高校の魅力化促進事業（人材育成学習会等） 36,125円
 - 制服購入費補助（21人） 840,000円
 - 各種検定費補助（延べ79人） 164,275円
 - オープンスクール参加費補助（5組） 213,404円

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104890	岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業費

事業手法の詳細 2
4. 大迫高校学生寮改修工事等 22,264千円 (1) 学生寮Wi-fi環境整備 429,000円 (2) 実施設計 1,947,000円 (3) 改修工事 19,888,000円

事業手法の詳細 3

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104070	学校安全確保事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		467	443		-24
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	310	294		-16
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	157	149		-8

特定財源の内訳

事業期間	<input type="radio"/>	単年度繰返	期間限定	~
------	-----------------------	-------	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

登下校時における児童生徒が被害者となる事件・事故を未然に防止するためには、家庭や地域の関係機関との連携が不可欠であることから、この事業を開始した。

事業概要

○学校安全体制整備 443千円
 スクールガード・リーダーによる巡回指導
 スクールガード養成講習会の実施

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

事業費合計 443千円
 児童生徒の登下校中の安全確保のため、学校安全体制に関わる組織を構築し、より効果的な安全指導や見守り活動を展開する。
 1. 学校安全体制整備 443千円
 (1) スクールガード・リーダー (3人) による各地区スクールガードの巡回指導
 巡回謝礼 421,000円、保険料 21,540円
 (2) スクールガード養成講習会の実施

【財源内訳】
 県 (2/3) 294千円

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104900	部活動適正化促進事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,184	3,010		-174
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	2,013	1,901		-112
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,171	1,109		-62

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	<input type="radio"/>	単年度繰返	<input type="checkbox"/>	期間限定	～
------	-----------------------	-------	--------------------------	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

H30年に国及び県から示された部活動に関するガイドラインに則り、成長期の生徒の部活動と休養のバランスを取ることや教員の負担を軽減して本来業務の生徒と向き合う指導に専念できる職場環境を整えることが課題となっているため、この事業を開始した。

事業概要

○部活動指導員 3,010千円
中学校に実技指導や大会引率を行う部活動指導員を配置

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

事業費合計 3,010千円
成長期の生徒の部活動と休養のバランスを取るとともに、部活動指導員の配置により教員の負担を軽減する。
1. 部活動指導員 3,010千円
市内中学校10校に実技指導や大会引率を行う部活動指導員を配置
報酬 2,853,200円 通勤手当 156,995円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104930	学校地域協働連携事業

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		5,008	5,216		208
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,588	1,708		120
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,420	3,508		88

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

「学校」「地域」「連携」がキーワードの3つの事業（「学校地域連携事業」「学校図書館支援事業」「小中連携強化事業」）を統合することにより、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりを推進する。
また、平成29年3月、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により努力義務とされた「学校運営協議会」を設置する学校（コミュニティ・スクール）の推進を図る必要がある。

事業概要

- 学校地域連携 2,416千円
地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携・協働による学習支援活動を実施
- コミュニティ・スクールの調査・導入 154千円
学校運営協議会制度の継続調査及び学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールの導入
- 学校図書館支援員の配置 2,646千円
各小中学校を巡回して図書整備及び利用等の運営に関する助言指導を行う学校図書館支援員を配置

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

事業費合計 5,216千円

学校・家庭・地域が一体となり地域ぐるみで子どもを育てるため、家庭や地域社会、学校間の連携・協働による学校経営を推進する。

1. 学校地域連携 2,416千円
地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携・協働による学習支援活動を実施
運営委員会委員・地域コーディネーター謝礼 2,317,000円 消耗品費 98,778円
2. コミュニティ・スクールの調査・導入 154千円
学校運営協議会制度の継続調査及び学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールの導入
コミュニティ・スクールの調査・導入に係る講師謝礼 20,000円 費用弁償 27,200円
消耗品費 106,470円

 [コミュニティ・スクール「学校運営協議会制度」とは]
 学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組み
 (主な役割)
 ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
 ・学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる。
 ・教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べる
 ことができる。
3. 学校図書館支援員の配置 2,646千円
各小中学校を巡回して図書整備及び利用等の運営に関する助言指導を行う学校図書館支援員を配置
報酬等 2,448,081円 公用車燃料費 26,144円 公用車借上料 172,440円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	01	104190	小学校施設維持事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		40,848	269,227		228,379
財源内訳	国費	8,547	75,441		66,894
	県費	0	0		0
	地方債	21,500	127,300		105,800
	その他	8,500	19,000		10,500
	一般財源	2,301	47,486		45,185

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	~
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理・長寿命化を図る。

事業概要

小学校施設の維持管理・長寿命化 269,227千円 [うち繰越明許費232,008千円]
 ○設備設置等業務 31,719千円
 笹間第一小駐車場舗装・校舎外壁修繕、南城小相撲場解体、太田小プールの過装置取替
 ○校舎等維持補修工事、設計業務 237,508千円 [うち繰越明許費232,008千円]
 花巻小FF式暖房更新(設計)、矢沢小校舎給水配管更新(設計)、花巻小第二体育館非構造部材耐震化(設計)、桜台小長寿命化改良(設計・工事等)[繰越明許]、南城小FF式暖房更新工事[繰越明許]、宮野目小FF式暖房更新工事[繰越明許]、大迫小LED照明更新工事(設計・工事)[繰越明許]

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	及川盛敬
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

各学校からの施設要望

事業手法の詳細1

□学校施設長寿命化計画(令和2年10月策定)に基づき施設の維持管理、長寿命化を図る

- 設備設置等業務 31,719千円
 (1) 設備設置等業務委託料 24,672千円
 【内訳】
 ① 笹間第一小: 駐車場舗装整備業務 14,169千円
 ② 南城小: 相撲場解体撤去業務 2,517千円
 ③ 太田小: プールの過装置取替業務 7,986千円
 (2) 校舎等補修業務委託料 7,047千円
 ③ 笹間第一小: 校舎外壁修繕業務 7,047千円
- 校舎等維持補修工事、設計業務 237,508千円 [うち繰越明許費 232,008千円]
 (1) 設計等業務委託料 29,637千円 [うち繰越明許費 24,137千円]
 (2) 校舎等維持補修工事費 207,871千円 [うち繰越明許費 207,871千円]
 【内訳】
 ① 花巻小: FF式暖房更新(設計業務) 3,278千円
 ② 矢沢小: 校舎給水配管更新(設計業務) 1,210千円
 ③ 花巻小: 第二体育館非構造部材耐震化(設計業務) 1,012千円
 (繰越明許)
 ④ 桜台小: 長寿命化改良事業(工事及び工事監理業務等) 119,511千円 (繰越明許)
 ⑤ 南城小: FF式暖房更新(工事) 48,620千円 (繰越明許)
 ⑥ 宮野目小: FF式暖房更新(工事) 36,300千円 (繰越明許)
 ⑦ 大迫小: LED照明更新(設計業務及び工事) 27,577千円 (繰越明許)

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	01	104240	中学校施設維持事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		22,274	121,768		99,494
財源内訳	国費	4,026	34,850		30,824
	県費	0	0		0
	地方債	12,500	59,900		47,400
	その他	4,200	8,900		4,700
	一般財源	1,548	18,118		16,570

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	~
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理・長寿命化を図る。

事業概要

中学校施設の維持管理・長寿命化 121,768千円 [うち繰越明許費98,041千円]
 ○設備設置等業務 7,480千円
 矢沢中放送設備更新、南城中防災監視盤設置
 ○校舎等維持補修工事、設計業務 114,288千円 [うち繰越明許費98,041千円]
 東和中大規模盛土造成地滑動崩落防止対策(設計)、大迫中柔剣道場非構造部材耐震化(設計)、湯本中・宮野目中(屋体)屋根改修(設計)、湯本中普通教室等床改修(設計)、南城中LED照明更新工事[繰越明許]、花巻北中LED照明更新(設計・工事)[繰越明許]、花巻北中FF式暖房更新工事[繰越明許]

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	及川盛敬
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

各学校からの施設要望

事業手法の詳細1

□学校施設長寿命化計画(令和2年10月策定)に基づき施設の維持管理、長寿命化を図る

- 設備設置等業務 7,480千円
 (1)設備設置等業務委託料 7,480千円
 【内訳】
 ①矢沢中:放送設備更新 1,375千円
 ②南城中:防災監視盤設置 6,105千円
- 校舎等維持補修工事、設計業務 114,288千円 [うち繰越明許費 98,041千円]
 (1)設計等業務委託料 18,557千円 [うち繰越明許費 2,310千円]
 (2)校舎等維持補修工事費 95,731千円 [うち繰越明許費 95,731千円]
 【内訳】
 【内訳】
 ①東和中 :大規模盛土造成地滑動崩落防止対策(設計業務) 10,274千円
 ②大迫中 :柔剣道場非構造部材耐震化(設計業務) 2,915千円
 ③湯本中 :屋体屋根改修(設計業務) 1,210千円
 ④宮野目中 :屋体屋根改修(設計業務) 1,265千円
 ⑤湯本中 :普通教室等床改修(設計業務) 583千円
 (繰越明許)
 ⑥南城中 :LED照明更新(工事) 19,028千円(繰越明許)
 ⑦花巻北中 :LED照明更新(設計業務及び工事) 32,208千円(繰越明許)
 ⑧花巻北中 :FF式暖房更新(工事) 46,805千円(繰越明許)

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	03	104960	学校給食センター改修事業

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		16,907	27,071		10,164
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	9,000	21,000		12,000
	その他	0	0		0
	一般財源	7,907	6,071		-1,836

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	<input type="radio"/>	単年度繰返		期間限定	~
------	-----------------------	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

老朽化のため、施設等の不具合が多発しており、このことを原因とする献立変更や作業工程の変更等は3か所（湯口、矢沢、石鳥谷）、計10日以上となっている。（R2年10月末現在。）
今後、安定的に給食を提供することが困難となる恐れが高まっており、長期的な視点で計画的な改修及び備品更新を行う必要がある。

事業概要

- 備品購入 26,026千円
 - ①検食用冷凍庫 3台（湯口、湯本、南城）
 - ②業務用冷凍庫・冷蔵庫 2台（西南・矢沢）
 - ③電気回転釜 4台（石鳥谷）
 - ④スチームコンベクションオープン 2台（石鳥谷）
- 施設改修 1,045千円
空調設備更新工事実施設計（東和）

担当部署	51180000 教育委員会 学校給食	担当課長	高橋 晃一
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細1

学校給食センター改修事業費 27,071千円

- 備品購入 26,026千円
 - ①検食用冷凍庫 3台（湯口、湯本、南城） 1,936千円
 - ②業務用冷凍庫・冷蔵庫 2台（西南・矢沢） 1,760千円
 - ③電気回転釜 4台（石鳥谷） 14,960千円
 - ④スチームコンベクションオープン 2台（石鳥谷） 7,370千円
 - 施設改修 1,045千円
空調設備更新工事実施設計（東和）
- 【財源内訳】 合併特例債 ④、⑤ 21,000千円